

2025年12月10日
九州電力株式会社
九電ドローンサービス株式会社
株式会社Liberaware

九州電力とLiberawareは資本業務提携を締結しました

— 九電ドローンサービスはLiberawareのGold PartnerとしてIBIS2の利用拡大に貢献 —

九州電力株式会社（福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員 西山 勝、以下「九州電力」）と株式会社Liberaware（千葉県千葉市、代表取締役 閔 弘圭、以下「リベラウェア」）は、九州電力が保有する発電所などのフィールドを活用したドローン機体・ソフトウェアの共同開発を通じて、電力設備を含めた社会インフラのDX化と、ドローンの社会実装を加速させることを目的に資本業務提携を本日締結しました。

また、九電グループである九電ドローンサービス株式会社（福岡県福岡市、代表取締役社長 本田 健一、以下「QDS」）は、リベラウェアと販売代理店「Gold Partner」契約※を締結し、屋内狭小空間の点検に特化した世界最小級の産業用ドローン「IBIS2」の九州エリアにおける利用拡大を実現することで、九州から全国へ「次世代の安全インフラのかたち」を促進します。

九電グループは、「九電グループ経営ビジョン2035」において「エネルギーから未来を拓く～九州とともに、そして世界へ～」を掲げ、電力インフラの安定供給と地域の安全・安心に資する価値創造を進めています。長年にわたり培ってきた設備保全技術や現場力は、地域社会の発展を支える大きな強みです。

リベラウェアは、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに、「IBIS2」を開発し、社会インフラの“見えないリスク”の可視化に取り組んできました。

今回の提携・契約を通じて、九電グループが保有する電力インフラ点検の知見・ノウハウとリベラウェアのドローン・AI解析技術を融合することで、より高度で安全・安心なインフラ維持管理を実現するための新たなソリューションの開発と社会実装を加速します。

3社は、これらの取組みを通じて、災害対応やインフラレジリエンス向上など、幅広い社会課題の解決に寄与することで、「次世代の安全インフラのかたち」を九州から全国へ、そして世界へ発信していくことを目指します。

※リベラウェアが、地域ごとに販売・サポートを担うパートナー企業を「Gold Partner」「Silver Partner」として認定する国内販売店制度上の契約



以上